NIE実践報告

1．タイトル：**「昔のくらし新聞」にまとめよう**

2．学校名

愛媛県四国中央市立寒川小学校

3．実践者名（代表者名）

井上仁美

4．学年

第４学年

5．教科・領域名および受講児童・生徒数

社会科・２３人

6．単元（本時の学習課題）名

「古い道具と昔のくらし」

7．目標(狙い)

昔の人々のくらしに関心を持ち、、地域の方からその道具を使っていた当時の生活に関する話を聞き、調べたことをグループで新聞にまとめ発表し合う。

8．評価の視点

自分の課題をもって地域の人に取材し、読み手を意識して、伝え方を工夫しながら新聞をつくることができたか。

9．年間指導計画における本単元の位置づけと時数

（または、単元展開および時数と本時の位置づけ）

「新聞記者になろう」（教科書：光村図書）［５時間］［昔のくらし新聞にまとめよう」［社会科：12時間］

10．単元（本時）の学習展開（含む時数）と留意点

①教科書の挿絵から、古い道具が何をするものかや今の何にあたるかを書きだし、発表する。（２時間）②古い道具を使っていたころのくらしの様子を取材する計画を立てる。（２時間）③道具の使い方や当時の生活の様子、新しい道具に出会った時の気持ちを地域の方に取材する。（課外）④古い道具に隠された知恵や工夫して新聞にまとめる。（５時間）⑤それぞれの道具に関わる人々の思いや学習を通して感じた自分の思いをしっかり聞き手に伝える。（１時間）⑥昔から現在への生活の変化を学習して、理解したことや考えたことを話し合いまとめる。（２時間）

11．児童・生徒の反応、感想・意見

地域の方との触れ合いを通して、地域の昔のくらしや人々の願い・苦労に触れた児童の受けた感動は大きい。その思いが意欲的な新聞作りにつながり、自分の見聞きしたものを「伝えたい」という思いが新聞にも表れていた。

12．成果と課題

大見出しや見出しの付け方・色の使い方などを工夫して新聞を読む人に分かりやすくするなど、1学期に国語科で学んだことを生かして、自分の感動したことやみんなにもしらせたい事実をしっかりつたえることができた。取材した事柄の中で、伝えたいことを選んで書くということや、みんなで作ったものを伝え合い、感動を共有することの喜びも感じることができていた。実物投影機などの機材の導入が発表には効果的であったかもしれない。